

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第6回入間市障害者福祉審議会
開 催 日 時	令和6年2月15日(木) 午後3時00分 開会 / 午後4時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 501会議室
議 長 氏 名	今井 英雄
出席委員(者)氏名	今井 英雄 福井 恵子 黒古 次男 磯田 英穂 田邊 仁 内藤 英子 森田 秀子 金平 里美 野村 優美 石川 孝司 粕谷 浩史 橋本 敏子 末松 敦子
欠席委員(者)氏名	新井 豊吉 來徳 満
説明者の職氏名	主幹 千葉 茂
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 次第 2 障がい者福祉プラン(最終案) 3 答申書(案)
事務局職員職氏名	福祉部長 市川 一博 福祉部次長 忽滑谷 敦子 障害者支援課長 小笠原 昌平 主幹 千葉 茂
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過)

○ 議題

(1) 次期障がい者福祉プランについて最終確認について
事務局から説明。

◎ 質疑

今井議長

ただいま事務局から説明がありましたが、事前にお送りいただいたプランの最終案について、市長への答申もあるため、これから大きな変更はできないとのことです。答申は、2月27日(火)午後2時に、正副会長と事務局で市長室へ伺う予定となっています。最終案について、何かお気づきの点やご質問、ご意見がありましたら挙手していただき、はじめに名前を言ってご発言ください。

○黒古委員

最初に文言訂正ですが、初めの市長の言葉の後ろ、障害の害の平仮名表記についてです。

2行目、「本人の意思でない」について、「本人の意思ではない」とした方が表現上良いと思います。

2段落目の本プランでは～の2行目、「なくし」は平仮名ではなく漢字の方が、強い印象を受けてもらえるのではないかと思います。

22ページの2段落目、施策4の2行目について、「連携強化等に図りました」は、「連携強化等を図りました」に訂正をお願いします。

75ページの相談支援体制の充実等について、基幹相談支援センターの設置が「新規」となっていますが、すでに本市では基幹相談支援センターは設置されていると思います。新たにまた施策として実施するのか確認をお願いします。

○小笠原課長

その他文言に関しては基本のご指摘の通りだと思いますので、修正させていただきます。基幹相談支援センターについては、入間市が新規に設置するのではなく、国が新たに見込量を計画に入れるように言っているのです、前回の3年～5年度のプランには載っていません。

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

○黒古委員

とはいえ、その説明は計画の中には入らないので、見た人にとっては分からないと思いますが、どうなのでしょう。

○小笠原課長

分かりにくいと誤解を生むことに繋がりますので、表記については事務局で検討させていただきます。基幹相談支援センターの設置の下の部分についても、個別事例の支援内容の検証の実施回数の新規もあるので、他との関連もふまえて表記については検討させていただきます。

○今井議長

全体との整合性を考えた上で検討をお願いします。

○黒古委員

17ページの主な取り組みの(5)取り組み内容について、「相談事業所等と連携し」とありますが、「相談支援事業所」だと思います。

○事務局

「相談支援事業所」に訂正させていただきます。

○黒古委員

市長の言葉の中に、「しかし、障がい者の高齢化や重度化、」という言葉があります。本当に「重度化」しているのか気になったので調べてみました。手帳取得者の割合を計算しましたが、身体障がい者の1級の方がおよそ34%、2級の方も14%内であまり大きな変化はありません。

知的障がい者の方も一番多くて令和元年で18%、令和4年度は16%ぐらいです。

精神障がい者に関しても、一番多いのは令和元年度で、1級の方は8.1%、令和4年度で7.9%、2級の方が58.8%、令和4年度は58.8%となっており、本当に重度化しているのか疑問に思います。重度化しているのではなく、手帳取得者が増えているのではないかと思います。

議 事 の 概 要 (経 過)

色々な障がい者が町の中に出てきている状況の中で、目に触れる事が多くなっているからこういう言葉になっているのではないかと思います。現場の方がどのように考えているのか分かりませんが、手帳取得者が増加しているため、重度の方も増えているということだと思います。

○今井議長

手帳取得者が増加していることは事実ですが、しっかり調べないと重度化しているのか、していないのかはわからないと思います。市長の言葉なので簡単に変更はできないと思いますので、事務局で検討していただきたいと思います。

○田邊委員

文書を見た時に感じたことは、現在の障がい者の高齢化や重度化だと思いました。現在手帳を持っている人が高齢になり、高齢になったために障害が重度化する。その後親が亡くなり、その方達がどうしたらいいのか、そのように文章を受け取りました。受け取り方は色々ですが、手帳を新規で取得するのではなく、現在の障がい者に対して高齢化が進んだり、重度化が進んだり、親が亡くなり困る人が増えている、と文章を理解しました。

○今井議長

事務局で結論を出していただきたいと思います。

○田邊委員

「はじめに」を書いているのは、障害者支援課と秘書課のどちらですか。

○事務局

障害者支援課で基本的な部分をお示しして、それに対して市長から文言の指示を受けて作成しました。

○田邊委員

「はじめに」を読む人は少ないと思います。句読点が多く、読んでいて主語がどこなのかわからなくなるので、もう少し文章が短い方が読みやすいと思います。

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

○小笠原課長

ご意見ありがとうございます。

障害者支援課で原稿を考え、市長に見ていただいているので、基本的には文章を作り直すことは時間的な事も考えて難しいと思います。重度化の件については確認させていただきます。

いただいた意見は、次回プランを考える際に参考にさせていただきます。

○粕谷委員

74ページの精神障がい者の地域移行支援について、この利用者数は何を示しているのでしょうか。

○小笠原課長

地域移行支援サービスの利用人数です。

○今井議長

他にご質問、ご意見はないでしょうか。

事務局は皆様からいただいた意見を参考にさせていただきたいと思います。

それでは次の議題に入りたいと思います。

(2) その他について

○委員の任期等について、事務局より説明（市ガイドラインにより、基本的に審議会委員の任期は、3期9年までとなっている等。）

○小笠原課長

今回が委員の皆様方の任期中の最後の審議会となりますので、最後に一言ずついただければと思います。このプランに関する事、審議会に関する事、また何かメンバーに伝えたいこと等々あるかと思いますが、一言ずつご挨拶をいただければと思います。

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

○田邊委員

審議会委員の任期の話がありましたけども、私も大分長くなりまして、2期の途中からだったのが今年で7年になります。次に入ると10年を越してしまうことになります。そういう場合は交代した方がいいのか後程相談したいと思います。一応前回の3年間と、今期の3年間、その前に前任者が途中で会を辞めてしまったので交代ということで1年、審議会委員としてやってきましたが、なかなか最初の頃は、やっている内容がよく分からなくて、色々見ながら勉強をして、段々とやっている間に言葉や文言を理解できるようになってきて、今でも分かりにくい言葉はありますが、7年間やらせていただきありがとうございました。続けてやれるようであれば、また来期もお願いしたいと思います。身体障害者福祉会の方も人材不足で、なかなか役員になっていただけない状況があるので、現在代表者も含めて4人で活動しているので、相談会、認定審査会の方も重複している状況です。これからこういう会議に参加させていただくことも難しくなってくるかなと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○石川委員

私は令和4年の4月1日の途中から参加させていただいておりまして、こういう委員会に参加することも初めてだったもので、なかなか分からない中で、部会に分かれて色々お話をさせていただきました。その中で、田邊部会長をはじめ、他の委員さんに色々教えていただきながら、本日を迎えることができました。大変ありがとうございました。

○森田委員

私も3年ですが、長いようで短い、よく分からないまま今日に至っています。まだまだ勉強不足で、言葉や内容が全然分からなくて、なかなか難しい内容でしたが、皆さんの協力のおかげで、最近はようやく内容が把握できつつあります。できればまた次回も頑張りたいなと思っています。ありがとうございました。

○橋本委員

民生委員・児童委員協議会障害福祉部会の橋本と申します。

私は3期9年務め、ここで新しい方と交代となります。障がい者の方が住み良い町、入間に住んで良かったと思えるような町にしていきたいと思っています。長い間ありがと

議 事 の 概 要 (経 過)

うございました。

○野村委員

私は2期6年委員をやらせていただきました。なかなか発言することができず、ひたすら勉強だったのかなと思います。1期目と2期目の違いの中に、早くからプランに対して部会に分かれて取り組むということと、黒古委員に先頭を切っていただいてまとめてもらう中で、実際に障がいを持っている方の色々な話を聞けたということ、少数でも意見を汲み取ってこのプランに組み込むことが大事だと思いました。最初から障がいを持っている方、途中から障がいを持った方がいらっしゃいますが、途中からの場合ですと、自分の障がいを受け入れるのに時間を要し、それを職場に伝えることも難しいので、働くこと、障がいの方を応援すると言えない人が言えるようになるような環境を作ることが大事だと実感しております。次期はどうなるか分からないですが、この審議会で自分が学んだ事を生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

○末松委員

朗読ボランティアの一員としてこちらに参加させていただきました。正直、最初は本当に場違いだと思い、言葉も分からず入ってこない言葉ばかりでした。そしてひたすら調べて、後ろから追いかけるような3年で、その間にコロナもありました。今後同じ様にこの席に座るかは分かりませんが、貴重な3年間でした。ありがとうございました。

○金平委員

障がい者福祉プランという障害全般に幅広い分野で、その中から課題を見つけることができるのか、戸惑いの中からのスタートでした。この審議をしていく中で、精神障がいの方々の声を少しでも出せればという気持ちはありましたが、なかなかそれが出せないまま終了になりそうです。部会を立ち上げて、担当分野を絞り対応できるようになってからはスムーズな取り組みができたと思います。部会の立ち上げを前倒しできれば、なお一層皆さんがそれぞれの意見を出せるのではないかと思います。最初の1年間は全体を見渡す審議だったと思いますが、もう少し早くから取り組めれば、また幅が広がると思います。大変勉強させていただきました。本当にありがとうございました。

議 事 の 概 要 (経 過)

○粕谷委員

自立支援協議会で活動している中で、今年は入間市って意外と良いことやっているのだなとすごく感じた1年でした。例えば、精神障がいに対応した地域包括ケアシステムを作ることを進めています、厚生労働省が出している事例集に入間市が載っていたり、基幹相談支援センターと担当業者の担当職員の会議の中で、入間市がやっていることを発表したりしています。入間市がやってきたことを、この福祉審議会や自立支援協議会、行政がやってきたことの積み重ねが評価されたことだと思います。それでもまだこういう部分が足りないよね、というものがあると思います。それを少しずつこう改善していくことで、もっと良い入間市になっていくのではないかと感じた1年でした。ありがとうございました。

○内藤委員

私は、3期9年間参加させてもらいました。手をつなぐ親の会も、理事をやる人の人数もどんどん減ってきています。他の障がい者団体の皆さんを見ても、やっぱり人数が少ないとか、なかなか厳しいところがあると聞こえてきますので、そういうところも一つ問題だと思います。9年間少しずつ慣れてきた段階なので寂しい思いもありますが、ここで話し合ったことが本当に少しずつ変わっていく、良くなっていくものだ大変勉強になりました。ありがとうございました。

○磯田委員

公募委員として今回初めて参加させていただきました。一つ嬉しかった報告ですが、小児在宅医療支援研究会のメンバーで、年1回防災講座をやらせていただいています、先日東松山市の取り組みの事例発表があり、そこの担当者から、個別支援計画の策定率が県内でも非常に高いとお褒めの言葉をいただきましたので、皆さんにも共有させていただきたいと思っておりました。個別支援計画の話もこのプランの中で推進していく、という言葉の裏付けから、他市の方からお褒めの言葉を頂けたのかなと思います。さらにブラッシュアップして、色々な障がいの方、子供たち、手帳が出ない難病や障がいをお持ちの方、不登校の原因とされている発達障がいの子ども達等、さらに充実していく計画になればいいと思っています。また公募でお世話になることがありましたら、よろしくをお願いします。

議 事 の 概 要 (経 過)

○黒古委員

本当にお世話になりました。公募委員ということで2期目となりましたが、少しずつ現実に即したものができていると思います。毎日報道されているので関心も高いと思いますが、能登半島の震災で、障がいのある人がどのような避難をされているのか、非常に興味や関心があるところです。プランが現実に即しているのか検証が必要だと感じています。自分ができることは何かを考えて行動に移しています。そういう状況の中では、弱い立場にならざるを得ない障がいのある方に対して、寄り添える入間市になると良いと思っています。ありがとうございました。

○福井副会長

視覚障害者福祉協会の福井です。私の場合は2期務めさせていただきましたので、6年が経過したことになるわけですが、最終日を迎えて、本当に時の流れの速さを痛感しているところです。そして、2期目は微力ながら副会長という大きなお役を仰せつかりまして、どれだけお役に立てたのか疑問ではありますが、私の場合は全盲ですから、情報障がいということで、資料に目を通すことができませんが、事務局の方のご協力で、毎回たくさんの資料にSPコードをつけていただいたことで、テルミーで読み取ることができ、何とか全てを把握することはできないので、不十分な中での参加でしたけれど、何とかここまでやってこられたのも、ひとえに皆様のご協力のおかげかなと思っています。この先のことはよくわかりませんが、毎回皆さんの貴重なご発言やご意見を伺いながら、学びの場を与えられたと思っています。ただただ感謝の言葉でいっぱいです。ありがとうございました。

○今井会長

今期から初めて会長を務めました。他市の計画のレベルに少しでも近づこうと思って3年間過ごしてきました。最後の方は、何とかできたかなと思っています。今回の計画の取りまとめについても、色々な意見をいただき、事務局もそれに対して真摯に対応していただき感謝しております。今回からシンクタンクの皆さんに入ってください、今までよりは、文章の中身、内容についても正確なものがあったと思っています。私自身としても、満足する計画ができたと思っています。皆様のご協力のおかげですし、事務局のご尽力に感謝しております。

議 事 の 概 要 (経 過)

○小笠原課長

皆様ありがとうございました。

ここで福祉部の市川部長より、お礼の挨拶をさせていただきます。

○市川部長

福祉部長の市川と申します。それぞれ委員を務めていただいた年数は違いますが、まずは今期の3年間、大変ありがとうございました。今年度はこのプランの策定の年度ということで、審議会の回数も多く、委員の皆様には大変ご尽力、ご協力いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。今日も委員の皆様からご意見をいただいて、また事務局でもプランの修正をさせていただきたいと思いますが、今日をもちまして、次期の障がい者福祉プランの検討は終了として、あとは2月27日の市長への答申で一区切りになると思います。作っただけでなく、これをどう活用していくかが重要です。今後は国、県でそれぞれ計画がある中で、市の中でも障がい者に関する計画だけでなく、市の総合計画等多くの計画を策定していますので、今回の計画が障がい者施策の推進に繋がるよう活用していきたいと考えていますので、よろしく願います。どうもありがとうございました。

○小笠原課長

次第の内容はこれで終わりとなりますが、最後に確認しておきたいこと、ご意見等は何かございますか。よろしいでしょうか。それでは閉会の言葉を福井副会長からお願いいたします。

○福井副会長

皆さん、お忙しい中最後の審議会にお集まりいただきまして、障がい者福祉プランの最終案にご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。皆さんと一緒にここまで審議を重ねて参りまして、立派なものが仕上がったと思っております。ご協力ありがとうございました。これをもちまして、令和5年度第6回入間市障害者福祉審議会を閉会とさせていただきます。皆さん、本当にありがとうございました。

○ 閉会

議 事 の 概 要 (経 過)

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6 年 3 月 18 日

議 長 の 署 名

今井 英雄

議長が指名した者の署名

粗谷 浩史

